

カトリック河原町教会だより

2015年5月

主の復活のよろこびのうちに 9名の受洗者を迎えて



復活徹夜祭 洗礼式で白衣を受けて

今年の聖週間は3月29日「枝の主日」に始まりました。4月1日に聖香油ミサ、2日「主の晩さん」、3日「主の受難」、4日の「復活徹夜祭」では9名の方が、入信の秘跡（洗礼・堅信・聖体）に与りました。そして、5日に「復活の主日」日中のミサが、いずれも大塚司教司式によってささげられました。ミサ後の懇親会は小雨の中でしたが、テーブルを囲み、楽しくなごやかな交流のひと時となりました。

そして、午後2時からモノイ神父司式による英語ミサにも200名以上が集い、ご復活の喜びをともにしました。

聖霊の恵みによって生きる

今年の聖霊降臨の主日は5月24日です。聖霊は、目に見えず実体的に把握できないので分かりにくいと言われますが、例えて言えば、使徒言行録2章2節「突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、…」にあるように「風」のようなものです。風は目に見えませんが、吹いていれば明らかに旗などがなびき、吹いていなければ旗はなびきません。聖霊が働いているときは、風が吹いているときのように分かるものなのです。

旧約の民は、モーセを通して授けられた十戒、そこから発展した律法を守ることで神の救いにあずかると信じていましたが、肉の弱さのために律法を守りきれない中で苦しんでいました。新約では、律法の代わりにイエスがわたしたちに聖霊を与えられました。

それが聖霊降臨です。パウロは「わたしたちは律法を生きるのではなく、聖霊の恵みの中で新たな人生を歩むことができる。その恵みがわたしたちに与えられている」と言っています。ここにわたしたちキリスト者の生きる本質があります。



わたしたちには聖霊が与えられているのですから、聖霊によって救われるのです。このことを、毎年聖霊降臨を祝うことで確認しているということです。そして、わたしたちが聖霊の恵みの中で歩いていくには信仰が必要となります。イエスを救い主と信じるからこそわたしたちに聖霊の恵みが与えられ、その恵みでわたしたちは生きていけるのです。

聖霊は目に見えないので、つい忘れてしまいがちですが、わたしたちはいつも聖霊の恵みから出発しなければなりません。わたしたちは聖霊によって、自分のとらわれから解放され、真の自由をもって愛を生きていくように召し出されています。それがキリスト者の根本的な生き方です。教会にはさまざまな問題がありますが今の最も大きな問題は、わたしたちの間に聖霊が足りないことではないでしょうか。わたしたちが聖霊の導きに対してどのように生きていくのか、そのことを真剣に祈り求めていくことが必要でしょう。

(編集委員)

〈参考：京都教区聖書講座シリーズ12

『信仰に生きる』英隆 一朗神父講話より〉

聖週間アルバムから



聖木曜日ミサ 洗足式



復活徹夜祭 キャンドルを手に



復活徹夜祭 受洗者の皆さん



洗礼式



ガールスカウトの子どもたちの卵配り

白衣の起源 (女子パウロ会HPから引用)

初代教会の洗礼式は、復活徹夜祭の中で行われました。しかも、水の中に全身を浸し、洗礼の時の言葉も頭まで水に沈める形でした。水から上がった受洗者には、真っ白い衣を着せました。それは、聖パウロが言う「神にかたどって造られた新しい人を身に着けた」ことを意味しています。受洗者は、新しく生まれた人として、1週間この白衣を着ていました。その白衣を脱ぐ日が、復活節第2主日でした。そのため、復活節第2主日は「白衣の主日」とも言われています。この白衣の代わりに、現在は、受洗者に白い布を渡す「白衣の授与」があります。「あなたは新しい人となり、キリストを着る者となりました。神の国の完成を待ち望みながら、キリストに従って歩みなさい」と司祭は言います。そして、女性にはペールを、男性には小さな白い布を、頭か肩にのせます。

行事予定

四ページの行事予定欄に記載

協議事項

- ① 聖週間・復活祭について確認
懇親会パーティーは英語ミサ開始前(午後二時)までに片付けを終了する。
- ② 洛東ブロック長期目標、短期目標は次回ブロック会議において、司祭団からの提案等に基づき評議会でも検討したい。

その他

- ① 教会に来ることが難しい高齢者への対応について、各部会間で協力し合い、できることを模索、実行したい。
- ② 滋賀ブロック合同堅信式と安土セミンナリオ記念ミサが、四月二十六日十時から、滋賀地区カトリック彦根教会で行われる予定。ミサ後司教講話が予定されている。

四月から高齢者訪問を再開する。⑤キリシタン研究会 六月六日にキリシタン史特別講演会を予定している。六月九日に南山大付属小学校五年生(九十一名)の京都での宿泊学習への協力が計画されており、三月二十三日に担当教諭と打ち合わせを行った。

施設管理部

中庭ベンチに破損が見つかり、修理を予定している。

広報部

五月十日に新ウェブサイトのマイナ―チェンジと、年内にドメイン変更を予定している。

新司祭からのこあいさつ

◆ホセ・モンロイ神父から

京都教区の皆さん、ご復活の喜びをいつまでも祝うことが出来るように、私は皆さんのためにお祈りをいたします。

4月6日より、洛東ブロックの司祭たち、そして信者の皆様と一緒に神様の道を歩み続けることができるよう派遣されました。私の名前は、ホセ・モンロイ・ペレイラです。1938年3月21日メキシコのグアダハラ市に生まれました。メキシコのグアダルーペ宣教会の神学校に入って、1964年8月15日、聖母マリアの被昇天の祝日に司祭となりました。その後1年間グアダハラ市で仕事をし、1965年、宣教するため日本に派遣されました。日本では福島県会津地方の喜多方、京都、そして東京で働き、今回京都地区洛東ブロックで働くために任命を受けました。

私たち司祭は、宣教師として宣教するために来ましたので、その仕事を一生懸命やりたいという気持ちがあります。しかし、自分の力だけで行いたくても、なかなか出来ないことです。もし信者の皆さんと一緒にそれをすれば、間違いなく果たすことが出来ると思います。皆様はご存知のように洗礼を受けた時、神様の子どもとなって、それとともに大事な贈り物を受けました。信仰の

洛東ブロック新司祭団



一場神父 モンロイ神父 キム神父

贈り物です。その贈り物は心に納めるためではなく、隣人と分かち合うためでした。だから宣教師とよばれるのは、司祭やブラザー、そしてシスターなどだけではなく、信者一人ひとりも宣教師と呼ぶことができるのではないのでしょうか。

どうか、これから私と一緒にこの宣教の仕事をやってみませんか。このような仕事を果たすために、神様に対して行わなければならないこと、そして教会に対して務めを正しく守っているだけで果たしていると思うなら、足りないことがあると思います。それとともに、隣人と信仰を分かち合うことが必要です。隣人とは誰ですか。隣人とはキリスト信者だけではなく、信者でない人もわたしの隣人です。この隣人に、少なくとも行いによってキリストを宣べ伝えるのです。どうぞ皆さん、これからキリストのように行って、信者でない人のためにも働きましょう。

◆^{キム テジョン}金 泰政神父から

「アンニョンハセヨ」。お会いできて本当にうれしいです。

私は、済州教区から派遣されて日本宣教のために日本へ来たキム・テジョンと申します。2年間、日本語

学校で勉強して、このたび洛東ブロックに任命されました。

日本、その中でも中心である千年の都市、京都、そしてその京都の一番中心であるカテドラル河原町教会で生活することになるのが、私なりにには不安でもありますが、神様の道具としてよく使われるようにお祈りをしながら生きていきます。私は、教会に来ることが信者さんにとって負担とか、プレッシャーではなくて、実家に行くように気楽に来られる教会にしたいと思っています。誰でも心の安定と平和を感じられる、また、全ての人々がひとつになれる教会、神様の愛情を深く感じて、他の人と分かち合う事ができる教会になってほしいです。そうするように、もっと頑張ります。これからも足りないところがたくさんあると思いますので、もし間違ったところがあれば教えてください。

どうぞよろしくお願いします。

◆一場 修神父から

4月6日から、新しい担当司祭チームがスタートしました。国際的な雰囲気のあるチームです。最初から完成されたチームではなく、神の恵みと皆様との交わりによって、変わっていく、新たにされていくチームになれたらと思います。皆様と共に歩いていくチームになりたいと思います。皆様と福音を分かち合い、福音を証しするチームになりたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

■部会報告

典礼部

①日曜日午後の受付当番は、女性一人の対応は中止とし、具体的な改善策を検討実施する。②主日以外のミサの聖堂整理については平日は典礼部員での対応が難しいため、役員等で対応してほしい。

③諸行事の連絡に不備が生じたため、今後行事確認の体制を改善したい。④二〇一五年度の集会社者・聖体奉仕者を十三名選出し、教区に提出した。

財務部

高齢で教会に来られない方への対応をザビエル訪れ会と協力し検討する。「教会だより」郵送を広報部に依頼する。

教育部

①土曜学校三月三〇日～四月一日の教区小学生侍者合宿には六名参加の予定。三月三十日から堅信勉強会の予定(小学六年生四名)。四月十一日・始業式。初聖体前日の準備(初告解、写真撮影、パーティー)を予定。四月十八日は叙階式のため休み。四月二十五日から授業開始。四月二十九日に錬成会の下見を予定。②中高生会 四月五日復活祭親睦会でドリンクと綿菓子を担当する。四月十二日・始業式と新入生歓迎会。テキストは『カトリック教会の諸宗教対話の手引き実践Q&A』③エリの集い 初聖体の衣装準備中。五月十日にバザー開催④ザビエル訪れ会復活祭案内状を「クリスマス市民の集い」アンケート回答者に送付済み、メンバーは名札をつけて対応の予定。教会正門に幟を二本作製した。

河原町教会四月評議会報告要約

開催日 二〇一五年三月二十九日(日)

◆ 2015年5月・6月の行事予定 ◆

(6月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
	3	日	評議会5月例会 10:30ミサ後
	10	日	エリの集いバザー 10:30ミサ後 世界広報の日
5	17	日	主の昇天 衣笠墓地清掃 10:30ミサ後
	24	日	聖霊降臨の主日 南部地区合同堅信式 14:00
	31	日	三位一体の主日 教会美化デー
	7	日	キリストの聖体 評議会6月例会 10:30ミサ後
	12	金	イエスのみ心
6	24	水	洗礼者聖ヨハネの誕生
	28	日	大塚司教霊名(聖パウロ)のお祝い 10:30ミサ 聖ペトロ使徒座への献金 キム神父霊名(聖ペトロ)のお祝い
	29	月	聖ペトロ 聖パウロ使徒

初聖体 おめでとうございます

4月12日「神のいつくしみの主日」10時半のミサで、土曜学校の14名が初聖体に与りました。14名のみなさん、初聖体おめでとうございます。



「ぶどうの会 巡礼バスツアー」のご案内

日時：6月6日(土) 8:00 教会に集合
8:30 バス出発(信愛幼稚園前)～17:30 頃 教会到着予定
目的地：山国教会(右写真)訪問/美山かやぶきの里散策
参加費：6,500円 募集人数：50名
★山国教会で一場神父司式のミサがあります。皆さま、お気軽にご参加ください。



キリシタン史特別講演会のご案内 [会場:カトリック河原町教会聖堂/参加無料]

「ザビエルの願いは こうして実現した」

～都から河内への布教の流れ・南蛮寺建立にかけた高山右近の情熱～

◆日時：2015年6月6日(土)14:00～15:30

◆講師：神田 宏大氏 (キリシタン史研究者・野崎キリスト教会牧師)

著書：『河内キリシタン人物伝』『野崎観音の謎』その他

主催：京都キリシタン研究会・河原町キリシタン研究会

★右近列福も間近の今、皆さまのご参加をお待ちしています。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 村上真理雄神父(1F)

19:00(第1・休) 一場修神父(3F)

木曜日 15:00 一場修神父(3F)

金曜日 15:00 シスター庄子(3F)

19:15 村上透磨神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会/6月から】

第1水曜日 19:00～20:30 一場修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後～11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30～20:30 一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

5月14日(木) 14:00

6月18日(木) 14:00

テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月第3火曜日 10:30

※参加ご希望の方は事務室まで。